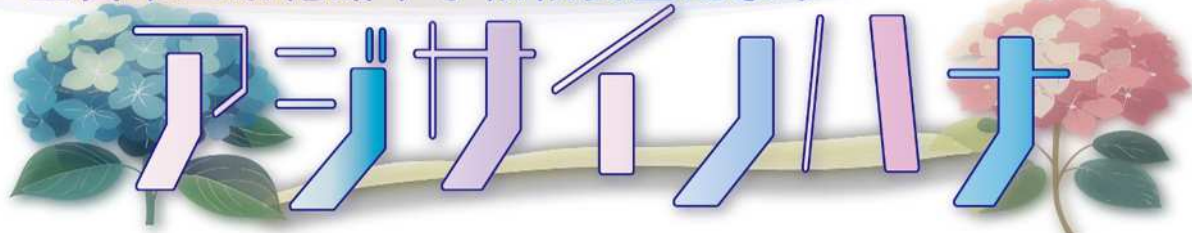


豊田市立崇化館中学校校長室だより



令和7年5月29日（木）発行（文責：松原秀敏）

令和七年初夏 授業も 衣替え



目標：「主体」と「対話」で
誰一人取り残さない
『やさしい教育』
いちばんの学校になろう



合言葉：これから生まれる
『名場面』を
探しに行こうよ

「人生100年時代」は、変化が激しく、予測が困難で、「正解」がない時代とも言われています。反対に、「正解」が多すぎて、何が「正解」か、分からなくなることもあります。学校生活でも、仲間が多いほど、「正解」の数も増えます。「正解」が多いことで、自分では、何でもないと思っていた問題が、難問になるかもしれません。何が正しいか分からないような難問に挑むとき、最も頼りになるのは「対話をする力」だと言われています。今日、出会った仲間との「対話」の先に、「みんなの正解」があります。仲間との対話の中で導き出した「みんなの正解」のことを『納得解』と言います。『納得解』のその先に、きっと、みなさんの「名場面」があるでしょう。

（令和7年度入学式・始業式 式辞より）

生徒たちの「対話をする力」を高めるため、日々の授業の改善に取り組んでいます。まもなく6月です。季節も夏へと変わります。衣替えをするように、生徒たちと共に授業も変えていきたいと願っています。

仲間と共に「正解のない問い」に挑む「対話」のある授業へ